

## エコステージは、「脇役を名脇役に」そして「本業」の改善・改革へ

株式会社弘久社（印刷業 東京都立川市 平野芳久社長 従業員35名 <http://www.kokyusha.com/>）は、オンデマンド印刷フル体制を持ち、多品種小ロットの印刷物に迅速に対応する他、永年の印刷ノウハウを用いてあらゆる印刷関連ニーズに応えている。2004年6月12日に社員全員でエコステージ導入キックオフ研修を受けてから、わずか6ヶ月の2004年12月7日エコステージ1の初回評価というスピード受審。その後、定期評価そして更新評価と毎年スパイラルアップした成果を、平野社長にお聞きしました。

<トップとしてのエコステージ導入の目的をお教え下さい。>

平野社長：私たちの会社は「繁盛することが、世のため・人のため・環境のためになること」を、活動基準(=)評価基準にしています。そして、エコステージ導入には以下の目的がありました。

1. 明確な共通目的、目標を持った社員教育の場としてエコステージを活用。  
→全ての部署でいつも脇役（指示を受ける一方）だった者たちが、コンサルタント（評価員）の方々といっしょにリーダー役を演じることで、リーダーとしての達成感や苦勞を一気に体得でき、良い教育機会をあたえられたと思います。
2. 名脇役たちの「明確な活動結果：エコステージ認証取得」を会社の歴史に残す。  
→環境との良好な係わり（環境マネジメントシステム）は、誰もが避けて通ってはならない。特に若い人や社歴の浅い人は、この会社で一番長くかかわるため任命しました。結果、ISO9001の様々な苦勞体験と今までのリーダーたちのフォローアップで、良い活動ができたと思います。

<具体的な活動内容を教えてください。>

平野社長：現在では「紙・ゴミ・電気」は一般管理項目とし、本業に密着した①「オンデマンド印刷受注量の拡大＝顧客サイドでの印刷物廃棄の削減」②「業務の能率化・効率化による残業時間の削減」③「R o H S 対応など顧客要求への速やかな対応」などに活動の重点を移しています。これこそが環境経営と考えています。

<エコステージ導入の具体的な効果はございましたか？>

平野社長：コストダウンや、経営品質が向上したという側面はもちろん、社長の私として一番うれしかったことは、エコステージという身近な環境経営への取組みから、「誰もが皆の前で発言し、会社をリードでき、結果が出せる！」ということを学んでくれたこと。そして、普段自分の仕事以外で主役を演じることが無かった（少なかった）人たちだけで、環境マネジメントの認証取得そしてスパイラルアップに挑戦することで、全ての部署で生きた人材教育ができたこと。

その結果・・・

1. 弘久社の明日を考える会のメンバーが補強され、活動再開。
2. CS会議を見直し、顧客との関係性を高める工夫を迫及。
3. 社長塾の継続実施。
4. 毎朝の社内外清掃、毎日の全体朝礼などへ良い効果が広がっている。

今後も、「繁盛することが、世のため・人のため・環境のためになること」を確信し活動を強化してまいります。

<エコステージ委員会メンバー>



その他の事例は 株式会社 KAZ コンサルティング

<メンバーによる、市などへの印刷機などの

増設・減設などの申請書類>



<http://www.kazconsul.jp> をご覧ください